

国立病院機構四国がんセンターからのお知らせ

臨床研究 「免疫抑制患者に対する 13 価蛋白結合型肺炎球菌ワクチンと 23 価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチンの連続接種と 23 価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチン単独接種の有効性の比較 -二重盲検無作為化比較試験-」に参加された患者さまへ

この臨床研究に参加された患者さまから採取した検体のうち、一部を海外の検査機関に送ることになりましたので、国の指針に基づき、お知らせいたします。具体的には、血清特異オプソニン活性（免疫反応）を測定するため、血液を、莢膜型（肺炎球菌の種類）を調べるため、尿を海外の検査機関に送ります。なお、検体には、患者さまの氏名などは記載せず、臨床研究用の番号を付けて送るなど、個人情報の取り扱いに十分配慮いたします。

ご質問等がありましたら次の連絡先までお問い合わせ下さい。

【実施医療機関の研究責任者の連絡先】

国立病院機構四国がんセンター 血液腫瘍内科

〒791-0280 松山市南梅本町甲 160

TEL：089-999-1111

研究責任者：血液腫瘍内科 血液腫瘍内科医長 吉田功

【研究代表者（臨床研究全体の責任者）】

国立病院機構三重病院 呼吸器内科

〒514-0125 津市大里窪田町 357

TEL: 059-232-2531

研究代表者：呼吸器内科 医師 丸山貴也

<臨床研究の概要>

研究の名称	免疫抑制患者に対する 13 価蛋白結合型肺炎球菌ワクチンと 23 価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチンの連続接種と 23 価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチン単独接種の有効性の比較 -二重盲検無作為化比較試験-
研究の目的	免疫力が下がっている患者さまを対象に、日本で行われているワクチン接種（PPSV23）と比較して、アメリカなどで行われているワクチン接種（PCV13/PPSV23）の方が肺炎球菌感染の予防効果が高いかどうかを調査する。
研究期間	2022 年 4 月まで
海外に送付する試料	採取検体（血液、尿）
送付目的	血液：血清特異オプソニン活性測定のため。 尿：莢膜型検出のため。
送付方法	郵送にて送付
研究代表者氏名・所属	丸山貴也（国立病院機構三重病院 呼吸器内科）

第 1.0 版 2017 年 11 月 27 日

第 1.1 版 2018 年 4 月 5 日